

性犯罪・性暴力被害相談体制の拡充

ワンストップ支援センター
全国共通短縮番号(R2.10/1～)
「#8891」(はやくワンストップ)

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター



8 8 9 1
はやくワンストップ

都道府県の性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター
全国共通短縮番号が10月1日からはじまります。
発信場所から最寄りのワンストップ支援センターにつながります。
8 8 9 1 「はやくワンストップ」と覚えてください。

- ◇ 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターとは、性犯罪・性暴力に関する相談窓口で、医療、法律などの総合的な支援につながります。
- ◇ 全国共通短縮番号は、一部のIP電話、PHS等からはつながりません。

QRコード



性暴力に関するSNS相談
「キュアタイム」
R2.10/2～R3.3/31
(月・水・金・土
16時～21時)

性暴力の悩み、SNSで相談してみませんか？

年齢・性別
は問いません

匿名で
OK

キュア タイム
+Cure time+



相談期間 2020/10/2(金)～2021/3/31(水)

受付日時 毎週月・水・金・土曜 16～21時 ※12/29～1/3を除く

叩いたり罵ったり、あなたの身体を傷つけられることだけが暴力ではありません
あなたが望まない性的な行為はすべて性暴力です

 内閣府



- ① 全国共通短縮ダイヤルの導入、無料化の検討
- ② センターの広報周知、学校を通じた中高生への周知、地域の関係機関への周知
- ③ SNS相談の通年実施の検討
- ④ 24時間・365日化の推進、夜間休日コールセンターの設置検討、緊急時の都道府県の支援体制と連携
- ⑤ 都道府県の実情に応じたワンストップ支援センター等の増設
- ⑥ 病院にセンターを設置することや、必ずつながることができる中核的病院との提携
- ⑦ 都道府県、病院、警察、弁護士、婦人相談所、児童相談所等地域の関係機関との連携強化。国レベルで検討の場を置き、令和2年度内に一定の結論を得て推進
- ⑧ センターにおけるコーディネーターの配置・常勤化、事務職員の配置
- ⑨ 相談員、行政職員、医療関係者、センター長等への研修。オンライン研修教材の開発。
- ⑩ 中長期的な支援（PTSDへの対応、福祉部局等との連携）等

性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための「生命の安全教育」調査研究事業

概要

○令和2年度に、内閣府と文部科学省の共同による調査研究事業を行い、先行する取組における、教材の内容や指導の手引き等について実態調査を行う。

○有識者からなる検討会において、発達段階に応じた教材や教職員向けの指導手引き、啓発資料、保護者向け資料等の作成に向けた現状分析・検討を行い、令和2年度中目処に教材・手引きを完成させる。

検討会委員

※五十音順、敬称略 ◎は座長

浅野 明美	全国養護教諭連絡協議会会長 常陸太田市立世矢小学校養護教諭
浦 尚子	性暴力被害者支援センター・ふくおか理事長
緒方 直彦	全国特別支援学校長会事務局次長 東京都立町田の丘学園統括校長
木間 東平	全国学校安全教育研究会会長 葛飾区立柴又小学校校長
瀬高 真一郎	全国高等学校長協会生徒指導研究委員長 神奈川県立市ヶ尾高等学校校長
西澤 哲	山梨県立大学人間福祉学部学部長・教授
番 敦子	弁護士
◎渡邊 正樹	東京学芸大学教職大学院教授

令和2年度「女性に対する暴力をなくす運動」の主な取組について

<概要>

政府では、毎年11月12日から11月25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間、関係団体との連携、協力の下、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化するための広報活動を実施。（平成13年6月5日男女共同参画推進本部決定）

<目的>

潜在化しやすい女性に対する暴力（配偶者等からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等）の問題に対し、社会の意識を喚起するとともに、女性の人権尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることにより、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発を強力に推進する。今年のテーマは「性暴力を、なくそう」

○ 橋本大臣との意見交換性暴力被害者支援団体・関係者との意見交換（11/12）

橋本大臣と性暴力被害者支援団体・関係者でコロナ禍における性暴力の実態や性暴力被害対策についての意見交換を実施。橋本大臣からは、「多くの人に性暴力の問題に関心をもってもらい、『性暴力はあってはならない』という意識を社会全体に広げるために、広報啓発や被害者支援の充実等に取り組んでいきたい」との発言があった。

○ 性暴力防止に関するポスター・リーフレット・啓発カード・啓発シール・パープルリボンバッジの作成・配布

「性暴力をなくす」という社会の意識の醸成と、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの全国共通番号を周知を図るポスターやリーフレットを作成し、全国の自治体、関係機関・団体、公立図書館等に配布。

○ パープル・ライトアップ

東京スカイツリーを始め、全国のタワーや商業施設等において、女性に対する暴力根絶のシンボルカラーである紫色にライトアップを実施し女性に対する暴力の根絶を呼びかける活動を実施。

※令和2年度は263カ所で実施

○ 閣僚によるパープルリボンバッジの着用

○ 漫画家 西原理恵子さん描きおろし漫画

性暴力の被害の実態と、ワンストップ支援センターを紹介。

○ 企業と連携した広報展開

日本ロレアル株式会社とトリンプ・インターナショナル・ジャパン株式会社が賛同。店頭やSNSでの広報展開に協力。



橋本大臣と関係者のみなさん



<ポスター・リーフレット>



<啓発シール>



<パープルリボンバッジ>



<西原先生の描きおろし漫画>



<令和2年度ライトアップ写真>

若年層を対象とした性的な暴力の根絶

●若年層の性暴力被害予防月間

【期間】 毎年4月

【目的】 これまでのAV出演強要やJKビジネスなどの問題の更なる啓発に加え、深刻化しているレイプドラッグの問題、酩酊状態に乗じた性的行為の問題、SNS利用に起因する性被害、セクシュアルハラスメント、痴漢等、若年層の様々な性暴力被害の予防啓発や性暴力被害に関する相談先の周知、周りからの声掛けの必要性などの啓発を行い、若年層が性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないことの啓発を徹底する。

【主な実施事項】

- (1) ポスター、リーフレットの作成・配布、テレビ、ラジオ、インターネット等のメディアを利用した広報活動
- (2) 講演会・研修会等を開催し、若年層の性暴力被害予防のための啓発活動を実施
- (3) 被害者相談活動の一層の充実

【拡散希望】

性暴力をなくそう。

AV出演強要

JKビジネス

レイプドラッグ

酔わせて性的行為を強要

SNSを利用した性被害

- 自撮り画像を勝手に掲載される
- なりすました相手からの性暴力

セクシュアルハラスメント

痴漢

10代20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。
同意のない性的行為の強要は、
いかなる理由・関係性であっても
すべて性暴力です。

性暴力に関する情報をみんなで共有して、
社会全体で性暴力をなくしていきましょう。
#NEVER FORGIVE 性暴力



4月は「若年層の性暴力被害予防月間」

性犯罪・性暴力でお悩みの方へ
あなたの不安に寄り添いながら支援をする
公的な相談窓口があります。

性犯罪・性暴力被害者のための
ワンストップ支援センター(内閣府)
はやくワンストップ
#8891

性犯罪被害相談電話
(警察)
ハートさん
#8103

相談のことなど詳しくは
性暴力をなくそう Q



性犯罪・性暴力でお悩みの方へ

あなたの不安に寄り添いながら支援をする、
公的な相談窓口があります。

AV出演強要

JKビジネス

レイプドラッグ

酔わせて
性的行為を強要

SNSを利用した
性被害

セクシュアル
ハラスメント

痴漢

*** 同意のない性的な行為の強要はすべて性暴力です ***

 プライバシーに配慮し、秘密は厳守します。安心して相談してください。 

性犯罪・性暴力被害 相談窓口

性犯罪・性暴力被害者のための ワンストップ支援センター（内閣府）

性犯罪・性暴力に関する相談について、関係機関と連携し、産婦人科医療、相談・カウンセリング等の心理的支援、捜査関係の支援、法的支援等を行う公的な支援窓口です。（各センターによって支援内容は異なります）

全国共通番号

はやくワンストップ
#8891

最寄りのワンストップ支援センターにつながります

受付時間など、詳細は下記のページをご覧ください。

ワンストップ支援センター 

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/seibouryoku/consult.html



性犯罪被害相談電話（警察）

性犯罪・性暴力被害等の相談に応じる警察の窓口です。

全国共通番号

ハートさん
#8103

発信場所を管轄する都道府県警察の性犯罪被害相談電話につながります

【土日・祝日及び執務時間外】当直で対応します。

「AV出演強要」「JKビジネス」に関するトラブル

若年層を対象とした 性的な暴力の啓発（内閣府）

「AV出演強要」や「JKビジネス」の被害、相談窓口を紹介しています。

詳細は下記のページをご覧ください。

性的な暴力の啓発 

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/avjk/index.html



警察相談専用電話（警察）

犯罪被害の未然防止に関する相談等、各種相談に応じる警察の窓口です。

全国共通番号

#9110

発信場所を管轄する都道府県警察の本部の総合窓口につながります（最寄りの警察署でも対応します）

【土日・祝日及び執務時間外】

24時間受付体制の一部県警を除き、当直または音声案内で対応します。

性的画像を含むインターネット上の問題

（女性の人権ホットライン（法務局・地方法務局））

女性をめぐる様々な人権問題についての相談窓口です。性的な画像を含むインターネット上の人権侵害情報についても相談に応じており、削除依頼の方法などの助言に加え、事案に応じてプロバイダ等に対する削除要請を行います。

ゼロナナゼロのハートライン
0570-070-810

最寄りの法務局・地方法務局につながります

【平日】午前8時30分～午後5時15分

違法・有害情報相談センター

インターネット上の名誉毀損、プライバシー侵害、人権侵害などに関する書き込みへの対応や削除要請方法、その他トラブルに関する対応方法などについて、アドバイスします。

<https://www.ihaho.jp>

【WEBフォームにて24時間受付しています】



職場におけるセクシュアルハラスメント

（都道府県労働局雇用環境・均等部（室））

職場で受けたセクシュアルハラスメントについては、各都道府県労働局雇用環境・均等部（室）にご相談ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000177581.pdf>



犯罪被害者支援

（日本司法支援センター（法テラス））

様々な法的トラブルの解決に役立つ適切な法制度や相談窓口を紹介します。

【法テラス犯罪被害者支援ダイヤル】

0570-079714

IP電話からは
03-6745-5601

【平日】午前9時～午後9時 【土曜日】午前9時～午後5時

※メールによるお問合せは、法テラスホームページで24時間受付中。